

# 参加者募集・ワークショップ第2弾！

安心して暮らせる地域づくりのための勉強会

# オープンダイアローグって なんだろう？

かながわダイアローグの会コラボ企画



オープンダイアローグに触れ、対話の話し手・聞き手を体験し、対話が深まることを感じて温かいコミュニケーションをとる時間を体感してみませんか？ 地域の中・生活の中で実践していくための仲間づくりにつなげるワークショップです。

2024年7月20日(日)には、日本でオープンダイアローグを広めている精神科医、鍼灸師、オープンダイアローグトレーナーである森川すいめいさんをお迎えして拡大ワークショップ（横浜市開催）を予定しています。

**開催日時：2024年4月28日（日）9：30～12：00 ※9:15～受付開始**

※ワークショップ終了後に大倉山相談室&ふらっとTitina（地域の居場所スペース）の見学ができます。  
ご希望者は当日受付までお声掛けください。

**会場：港北区公会堂（港北区役所隣接）2号会議室 ※定員20名**

所在地：横浜市港北区大豆戸町 26-1

アクセス

- ・電車をご利用の場合 ○東急東横線「大倉山駅」下車徒歩約7分  
大倉山駅改札出て左に商店街を抜け「大豆戸交差点」を渡り右方向 ロイヤルホストの先
- ・バスをご利用の場合 ○JR 東日本横濱線・横浜市営地下鉄「新横浜駅」バスターミナル⑧  
横浜市営バス鶴見駅西口行で約7分「港北区総合庁舎前」バス停下車徒歩1分

**寄付金：ご芳志にてお願いいたします。**

※今回のご寄付は、オープンダイアローグを用いた居場所づくり運営や勉強会に活用します

**共催：一般社団法人Titina・かながわダイアローグの会**

※ご参加ご希望の方は下記までお申し込みください。

連絡先 一般社団法人Titina（ていていな）

**080-3110-9071 又はFAX 045-298-7738**





## オープンダイアログについて

オープンダイアログとはフィンランドの精神医療の現場で始まった「対話」を通じて治療を行うケアのシステム。参加する人がフラットな関係で受け止めてもらっていると感じられとても大切なものだと考えています。

対話とは、その人の主観を否定せず、その語りをとことん大事にすることです。説得や議論や説明は、「結論ありき」で相手を変えようとする試みであって対話ではありません。

「こうしたらどうか」ではなく、「私たちにも分かるように教えてくださいませんか」という姿勢で尋ね続けることを大切にします。アドバイスもしません。目的は、対話を続けることそれ自体です。そうするとだれもが安心して話すことができ、自然と考えが整理されていくのです。



## かながわダイアログの会

「ダイアログ体験したいけれどなかなかできない。」「やっぱりリアルで、オープンダイアログやリフレクティングトークを体験したい」と考えたメンバーが集まり2022年2月20日からオープンダイアログアプローチをリアルで体験する会を始めました。月1回ぐらい集まり、リフレクティングで対話が深まる経験を重ねています。



**一般社団法人Titina** 障害者相談支援事業 大倉山相談室と並行して、地域で安心して過ごせる居場所の提供などの活動を目指す。フードパントリー活動への参加、障害の有無に関わらずに楽しむ音楽会開催、医療的ケアのある方も地域の方々と一緒に楽しめるイベント等を行っている。障害があってもなくても、自分らしくいることを大切に、尊重できる対話の場を開きたいと考えている。

～ この度、開かれた対話について学べるようにオープンダイアログの講演会（7月）と事前の勉強会を企画しました。かながわダイアログの会の協力を得て対話の場づくりの2歩目に踏み出すことができました ～

森川すいめいさんの著書 『漂流老人ホームレス社会』（朝日文庫、2015）



『その島のひとたちは、ひとの話をきかない

精神科医「自殺稀少地域」に行く』（青土社、2016）

『オープンダイアログの心が癒されるプロセス

『感じるオープンダイアログ』（講談社現代新書2021）

『オープンダイアログ私たちはこうしている』（医学書院